

事業名	商工会等指導費	財務コード (事業)	094305
-----	---------	---------------	--------

細事業名	商工団体活性化推進事業費(商工会議所等)
------	----------------------

担当部課室	産業労働 部 産業政策 課 商工団体 担当 (内線)	4569
-------	----------------------------	------

## I 事業の概要

実施期間	始期 H19 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(商工会議所、商工会連合会)		
事業の目的	誰(何)を対象に 県内中小企業者	その対象をどのような状態にして 活動が活性化している	結果、何に結びつけるのか 県内経済の活性化
	事業の内容 ※主に 23年度		
事業の内容	<p>甲府商工会議所、富士吉田商工会議所及び商工会連合会が県内中小企業の活動の活性化を図ることを目的に、重点的に取り組む事業に助成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率: 定額、1/2</li> <li>補助対象事業及び主な事業実績           <ol style="list-style-type: none"> <li>中小企業者等の経営上の諸課題への対応事業(ITセミナー)</li> <li>販路開拓事業(商工会まつりのPRイベント)</li> <li>各種調査・研究・計画策定事業(H23補助実績なし)</li> <li>情報発信・情報環境整備事業(H22・H23機関誌発行55,500部/月)</li> <li>地場産業振興事業(ふじよしだお土産大賞応募数21社53点)</li> <li>その他、各団体及び会員の活性化に資する事業</li> </ol> </li> <li>補助金額 甲府商工会議所: 996千円(機関誌2誌への情報掲載) 富士吉田商工会議所: 272千円(お土産大賞他) 商工会連合会: 7,373千円(商工会まつり事業、その他事業)</li> </ul>		
根拠法令等	山梨県商工団体活性化推進事業費補助金交付要綱		

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	22年度		23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	
活動指標 ・商工会まつりの出 店団体数	142	150	152		150	150	活動指標 目標設定の考え方 商工会まつりは販路開拓による事業者の活性化を図る機会であることから、会場制限の範囲内で募集する出展団体数を目標値とする。 H23実績報告書、H24申請書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		101.3 %				
成果指標 成果指標達成率 (実績値/目標値)							成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		%				
決算額、予算額	8,855		8,641		8,552	8,390	成果指標によらない成果 ・ザ・やまなしに「甲府グランバザール2011」での商品・サービスの紹介やイベント情報を掲載し、集客につなげ、中心市街地活性化に寄与した。 ・ふじよしだお土産大賞を実施し、「ふじさんプリン」や「吉田のうどんセット薬味付」など、売れる地域のお土産品の開発を促進し、地域経済の活性化に寄与した。 ・商工会まつりでは、地域資源を開発した商品や、おつけ団子など各地域の特産品を展示販売、PRする機会を提供し、中小企業者の販路開拓に寄与している。
(千円) うち一財額	8,855		8,641		8,552	8,390	
所要時間(直接分)	90 時間		90 時間		90 時間	90 時間	
所要時間(間接分)	時間		時間		時間	時間	
所要時間計	90 時間		90 時間		90 時間	90 時間	
人件費コト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	182		182		182	182	

## III これまでの事業の見直し・改善状況

平成18年度までは、「商工団体育成強化費補助金」として、包括的な育成強化に努めていたが、同年の政策アセスメントにおいて、所期目的を達成していることからこれを廃止し、本事業として平成19年度から新たに「商工業の活性化に重点的に取り組む分野への支援」を行うこととした。

#### IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
	b	<p>・機関誌「やまなし」に「甲府グランバザール2011」での店舗ごとの商品・サービスや、宝石美術専門学校とタイアップした初めての試みである「ジュエリーファッションショー」等の情報を掲載することで、集客につなげ、中心市街地の活性化に寄与した。</p> <p>・富士山麓のお土産品の認知度が低いことから、ふじよだお土産品大賞を実施し、地元の牛乳、卵を使用した「ふじさんプリン」やスープや薬味をセットにした「吉田のうどんセット薬味付」など、売れる地域のお土産品の開発を促進し、HPで紹介し、観光施設において販売するなど地域経済の活性化に寄与した。</p> <p>・商工会まつりでは、巨峰うどんなど地域資源を活用して開発した商品や、おつけ団子や南部茶など各地域の特産品を展示販売し、県民にPRする機会を提供することで、中小企業者の販路開拓に寄与している。</p> <p>以上のことから、これらの事業は意図した成果をほぼ上げている。</p>

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

#### V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目
無		

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

#### VI 見直しの方角(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方角	具体的な実施計画等
現行どおり	

見直しの方角は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。